

着任のあいさつ

「木は光を浴びて育つ。人は言葉を浴びて育つ。」

教職員は、先哲の教えやこれからの未来を創造する力を伸ばすために言葉を使います。

幼いころから、温かい言葉をかけられ、笑顔に包まれて育った子どもは、温かい言葉を使い、笑顔に包まれています。逆に、冷たい言葉を耳にし、冷たい態度を目にしてきた子どもたちの心の扉はなかなか開きません。

着任にあたり、人を活かしも苦しめもする「言葉」の重みを再認識しました。



教育目標

「豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成を目指す」

キーワード

キーワードは、「自他共栄」です。

嘉納治五郎先生が講道館柔道の指針として掲げた言葉として有名ですが、私なりの解釈でこの学校の発展に尽力いたします。

本校には、思いやりの心を持ち、優しい生徒がたくさんいます。そこで、学校が温かい言葉に包まれ、お互いを尊重し、笑顔あふれる生き生きとした学校になってほしいという願いを込めました。

“You'll never walk alone”（あなたはひとりじゃない）を軸に、次の三つをキーワードにして、今伊勢中学校流の「自他共栄」～ 真心・感謝・信頼 から～をめざします。

- 【真心を込めて】 相手を尊重し、思いやりと助け合う心を育み、自己の有用感を高め、協働の精神を高めます。
- 【感謝を伝えて】 人への感謝の気持ちを持ち、共感する心を育むことで、互いを理解し共に生きる活力を培います。
- 【信頼の絆】 自分を鍛え、良好な信頼関係を築くことで、たくましい心と体を培い、自分を信じる力と正しい判断力を育てます。